

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業ビジョン

Update The World 変化し、変化させ、必要不可欠な会社に

売上高

9,612百万円

EBITDA

753百万円

② 中長期の経営戦略

1. 中核事業の維持・拡大

モバイルエンジニアリングサービスで6G導入に向け情報収集。体制維持と新規顧客獲得を推進。

2. 成長事業の圧倒的成長

IoTエンジニアリングサービスをフロー案件からストック案件に拡大。BLASをSaaS・BPaaSで提供し第2の柱に。M&Aも検討。

3. 育成事業の立ち上げ

ITインフラ領域に参入。保守領域から上流工程へ事業拡大を計画。

③ 対処すべき課題

① 収益基盤の多様化

- ・IoT・ITサービス拡大で特定顧客依存度低下。新規獲得と既存顧客のアップセル・クロスセル推進。
- ・営業機能の拡充・強化が重要。

② テクノロジーの強化

- ・現場作業DXクラウド「BLAS」で数千件の案件管理。保守DX高度化を推進。
- ・内製体制強化と他社連携でシステム開発を推進。

③ 人材確保・育成と情報管理

- ・多様なバックグラウンド持つ優秀人材の確保と教育体制強化が不可欠。
- ・ISO27001・27017取得。セキュリティ意識向上と法令遵守体制の強化が課題。

面接で使えるポイント

- ・インフラ業界のデジタル化遅れや多重下請け高コスト構造を解決するインフラテック事業に携わる。
- ・現場作業DXクラウド「BLAS」で一日数千件の案件を管理し、業務効率化を実現する仕事ができる。
- ・2026年度売上9,612百万円、EBITDA753百万円を目指す中で、事業拡大に参画する機会がある。

証券コード 4068

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
ベイス株式会社のビジネス内容
…

主力事業・セグメント

・ 情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・ 将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
80億円営業利益率
2.2%財務健康度
40点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 41.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
514万円

情報・通信業内 536位/592社

平均年齢
37.1歳

情報・通信業内 352位/593社

平均勤続
6.3年

情報・通信業内 303位/593社

女性管理職
5.8%

情報・通信業内 323位/373社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

